

## 平成27年 11月役員会 議事録

日時 平成27年11月20日（金）18時30分～20時15分  
場所 愛光学園2階大会議室  
出席者 末光名誉会長、亀井会長以下14名

### I. 審議事項

#### 1. 平成27年度総会のレビューと反省

##### (1) 全般

- ・参加者数は228名で、昨年より20名ほどの減。各期の周年事業がなかったのが要因だと思われる。
- ・テーブル配置は、従来のように前から古い期順に並べるのではなく、若い期を前方の来賓席の近くに配置したのは良かった。
- ・テーブル上の案内板の番号表示の文字が大きく、期数と勘違いする人がいたので改善が必要。

##### (2) 運営

- ・総会＋講演で1時間というのは非常にタイトである。地区報告を数分をお願いするのも心苦しい。
- ・来年の総会は10月22日で国際ホテルに仮予約していたが、他とバッティングしてお断りが来たため、急遽全日空ホテルを押しえた。
- ・総会と講演会の時間を延長するのも一つの考えだが、その会場使用料は、国際ホテルは無料。全日空ホテルは、60周年の総会するとき、2時間半で30万円余の使用料がかかった（実際は幹部にお願いして値引きしてもらったが）。

##### (3) 議事

- ・会費値上げの件で異議が出たが、値上げそのものに反対というよりも、決定方法、経緯に異議があるという趣旨。当日配布の資料にも、正面に掲示してある式次第にも、値上げの件が記されていないということの問題視されていた。
- ・昨年の総会で会則を変更し、「会則に規定のない事項について決定する必要があるときは、常任理事会で起案・検討し、書面またはメールによる理事の承認を得て決定し、次の総会にて報告するものとする」ことになったので、理事会承認の結果を報告と会長も答えたが、この会則が浸透していないかと思われる。
- ・やはり会費値上げの件は、報告というよりも「理事会で決定されましたが、よろしいでしょうか」といった承認を得る形にした方がよかった。

##### (4) 日程

- ・10月初めに届く同窓会だよりで、10月24日に開催する総会の告知をするのは遅いのでは。もっと早めに告知した方がよい。
- ・可能なら、総会までに翌年の総会の日程を決めておき、総会終了時に案内す

るというのよ。またインテルノス夏号の発送時に総会案内を同封してはどうか。

- ・同窓会フェイスブックに1,600人以上登録しているので、適宜お知らせするとよい。
- ・来年は、名簿作成で調査票を郵送するので、そこに総会案内も盛り込んではどうか。

## 2. 会費徴収の方法について

### (1) 決済方法

- ・決済方法として、カード決済、コンビニ決済、携帯電話での決済など、各種メニューがあり、また決済代行会社も多数ある。
- ・現在、ソフトバンクの子会社の代行会社とやり取りをしているが、カード決済を行うには法人格が必要。同窓会は任意団体なので、その資格がない。
- ・学校が「愛光学園同窓会口」という口座を用意していただけるのがベスト。この件、亀井会長から中村校長に依頼する。
- ・玉井副会長にて、これらについて更に詳しく調査する。

### (2) 毎年徴収について

- ・現在、5年単位での徴収としているが、会費徴収を始めた際、「2,000円を毎年集めるのは手間だ」との理由でこうなっている。本来は単年度徴収があるべき姿だ。
- ・カード決済にすると、その口座が解約されない限り、毎年自動的に会費が入金となり、非常に楽である。
- ・来年が5年徴収の開始年となるため、毎年徴収に切り替えるのは、来年しかない。
- ・永久会費の設定や、一定年齢以降は会費免除といった対応も検討してはどうか。
- ・それらは、70周年のときに考えよう。
- ・現在開発中の会員管理システムは、5年単位を前提に設計、プログラミングを行っている。単年度徴収となると仕様変更となるため、工数の見直しが発生する。再見積を行う。

### (3) 会費徴収についての確認

- ・会費は、来年から毎年徴収とする。
- ・在校生から毎月徴収している額は変更しない。
- ・卒業時には1年分3,000円のみ徴収する。現在の方法では、卒業時期によって最低5年分、最高9年分を頂くことになる。9年分27,000円はなかなか厳しいと思われるため1年分のみとする。

## 3. 各地区補助金算定基準について

#### (1) 各地区の要望・意見のヒアリング

- ・ 補助金算定の考え方が十分に伝わっていないかもしれないので、再度詳しく説明が必要だ。
- ・ また、算定基準について各地区からの要望を聞くことも必要だ。

#### 4. 第12号同窓会名簿作成状況について

##### (1) 広告募集状況

- ・ 広告は、入金済みと予約分を合わせて、130万円程度集まっている。
- ・ 引き続き、多方面に働きかけを行う。

##### (2) 再試作

- ・ 名簿1ページ当たりの掲載人数を増やすべく、岡田印刷に再度試作してもらったところ、前回の第11号が21人／頁だったのに対し27／頁となった。

##### (3) 収支見込み

- ・ 経費 約1,160万円
- ・ 販売目標 2,200冊
- ・ 販売価格は、従来通り5,000円とする。

#### 5. 規約改定について

##### (1) 支部・地区名称規定

- ・ 現在、4支部があるが「関東地区同窓会」「関西支部同窓会」「京滋の会」「九州地区同窓会」と名称がバラバラである。
- ・ 名称はともかく、本部から補助金を出しているところが正式な支部である。
- ・ 海外支部の位置付けは、東予支部、伊予支部などと同じである。補助金を出しているわけではなく、自分たちで任意に運営をしている。
- ・ 今は正式な支部ではないが、将来、後輩たちの面倒を見るために必要なので、補助金を出すというところが出てくるかもしれない。
- ・ 補助金を出す基準を設定し、それを満たせば出すということが必要では。
- ・ 支部・地区の権利と義務を明確にする必要がある。
- ・ 会員情報も、将来的には支部・地区で管理してもらってはどうか。
- ・ 会員情報は、本部で一元管理すべき。また、デジタルデータが一度出てしまうと、拡散する恐れがある。

##### (2) 各支部・地区会長を理事に

- ・ 各支部・地区の会長を理事に任命し、可能であれば常任理事会にも出してもらおう。

- ・ 常任理事会の議事録は現在も送っているが、より密接に連携する方がよい。
- ・ 旅費の問題もあるので、テレビ会議も考えてはどうか。一度試行してみる。

## 6. その他

### (1) 常任理事・理事の協力状況について

- ・ 特に若い期で、理事会に出席しない傾向があり、活動状況も把握できないのが現状である。何らかの対応が必要。
- ・ 全理事会は、スッと始まり、上の期の人たちが発言し、終わると懇親会。これでは、一度は来ても二回目からは来る気にならないのではなかろうか。何となく居づらい雰囲気なのは。スタート前に名刺交換会をするなど、コミュニケーションを図って、若い人も活動に巻き込む取り組みが必要。

### (2) エンブレムフラッグの作成について

- ・ 愛光学園のロゴと「愛光学園同窓会」という名前が入った旗を作成し、4地区に贈呈する。各地区の総会の際に正面の看板の下に垂らして飾る。
- ・ 見積もりを取ったが、旗だけ（ポールなどの付属品なし）で3万円くらい。
- ・ 学園のロゴ入りの旗が学校にあるので、金額を聞いてみる。

### (3) 総会当日の午後、中間体操再現について

- ・ 総会当日の午後、学校のグラウンドで中間体操をしてはどうかという声が一桁期の方からあった。
- ・ しかし、12期で還暦同期会の際に行ったが、15分程度で終わってしまうため間が持たず、意外に感動がないとのこと。
- ・ 土曜日の午後、女子生徒もいる前で上半身裸になるのはいかがなものか。
- ・ 再来年が65周年なので、模擬授業などの記念事業を企画しよう。その中で中間体操も行えばよい。

### (4) 平成28年度総会 10月22日（土）松山全日空ホテル

ゴルフコンペ 10月23日（日）北条CC

### (5) 中学テニス部への寄付

- ・ 中学テニス部が、全国私立中学校テニス選手権大会に出場するが、オフィシャルな大会でないため、費用が全額自己負担となる。そこで、同窓会からも寄付をしたい。
- ・ 平成27年度には、以下の部が全国大会に出場している。  
俳句、かるた、弓道、テニス、陸上、棋道、ロボコン、放送
- ・ いままでも全国大会に出場する際、同窓会から寄付をしてきたが、金額はその都度の判断によって決めてきた。
- ・ 今回は、7人の出場ということなので、1人1万円で7万円を寄付することとする。

- ・ 今後は、1人1万円とし、10万円を限度に寄付することとする。事前に顧問の先生から同窓会あてに申請していただき、常任理事会で承認する。間に合わないときはMLに流し、事後承認とする。

以上